

GOLF MEGA STAR

vol.2

ゴルフ界で輝く新星を
紹介するコーナーです

アマチュアゴルファー

下園 航太

SHIMOZONO KOTA

Profile

2003年6月8日生まれ。B型。福岡県北九州市出身。福岡県立小倉高等学校3年生。身長168センチ。父親の影響で5歳頃からゴルフを始める。4月から同志社大学経済学部に進学し、ゴルフ部に所属予定。

学業とゴルフの両立 文武両道の高校生活

今年3月に小倉高校を卒業する下園航太さん。ゴルフ部のない名門進学校に通いながら、「2021年度（第26回）日本ジュニアゴルフ選手権競技男子15歳〜17歳の部」4位T、「第8回カンサイ CUP ALL JAPAN」男子学生アマチュアゴルフトーナメント2021」1位など、ゴルフで輝かしい成績を収めた。

ゴルフとの出会いは5歳の頃。父親に連れられて練習場に行ったのがきっかけだ。小学生の頃から試合に出場し、プロゴルファーになるのが夢だったが、ゴルフ部のある高校ではなく、あえて進学校の小倉高校に進んだ。「ゴルフは常に選択を迫られ、良い方を選ばなくてはならないスポーツです。状況を把握して正確な判断をする為には、ゴルフ以外の豊富な知識も必要だと思いました」学業との両立は思った以上に大変だった。「定期考査と試合が重なっ



カンサイCUP上位入賞者(左から3人目が下園さん)

また時、試合に出られないもどかしさがありました。出る試合を絞りこんでスケジュールを組み、試合に向けて自分の課題を修正していきました」

**コロナ禍であっても
日々の努力を怠らない**

高校2年時には、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校が休校やオンライン授業になり、文化祭、体育大会など学校行事が軒なみ中止。青春の1ページとなるはずの修学旅行もなくなってしまった。「自粛期間中は、家でゴルフの練習ができたので技術力が上がりました。自作のパ



カンサイCUPにて優勝カップを手に笑顔の下園さん

ターマットで毎日パターを打っていました。パターは普通のショットと比べて、ゆっくり動かすので繊細な感覚が求められます。毎日練習して身体に覚えさせないと、一日でどうにかなるものではないですからね」

**4月から大学進学
QT突破を目指す**

ゴルフの魅力については「同じプレーはできないし、同じ状況ということもない。一打一打が唯一無二。考えれば考えるほど難しく、考えないとミスをしてしまう。ゴルフはメン

タルスポーツなので、心の持ち様を大切にしています。例えば、ミスをしてムスツとすると雰囲気も悪くなるし、ライバル選手に隙を与えてしまふことになる。だから、ミスをしてもなるべく口角を上げるように意識しています」と語る。

ゴルフに対して鋭い分析力を持つ理論派の下園さん。4月から京都の同志社大学経済学部に進学し、ゴルフ部に入る予定だ。

「大学生の間に全国大会で優勝したいです。それから、早いうちにQTを突破してプロツアーに出たいです！」

下園航太さん **Q & A**

- Q.ドライバー平均飛距離は? 270ヤード
- Q.ベストスコアは? 67(ザ・クラシック)
- Q.得意なショットは? パター
- Q.長所、短所は? 長所はよく考えること、短所は人見知り
- Q.ストレス解消法は? 美味しいご飯を食べること
- Q.好きな食べ物は? ファストフード
- Q.好きな音楽は? サザンオールスターズ「希望の轍」

自信 下園航太

Q.好きな言葉は?